

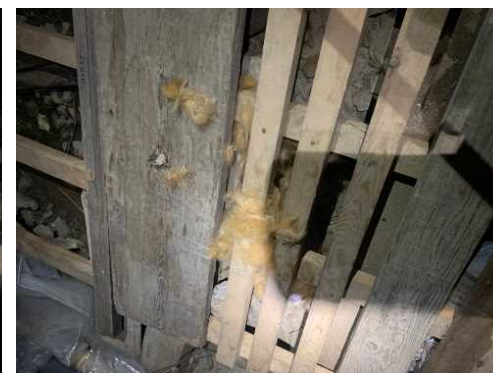
令和 3 年度南アルプスにおける捕食者対策事業実施結果

2. 令和3年度実施結果（北岳肩の小屋及び北岳山荘）

（1）小屋開け時の筒罾確認と再設置

- ・令和2年度小屋閉め時に北岳肩の小屋及び北岳山荘にそれぞれ2個設置した計4個の筒罾のうち北岳山荘に設置した1つの罾が作動していたが、動物は捕獲されていなかった。
- ・罾には餌がなく、毛などが散乱し、周辺に糞も複数あったことから、テン等が一度罾にかかった、もしくはかかりかけた可能性がある。

筒罾については令和3年度の小屋閉め時にそれぞれの小屋に2個を再び設置した。



2. 令和3年度実施結果

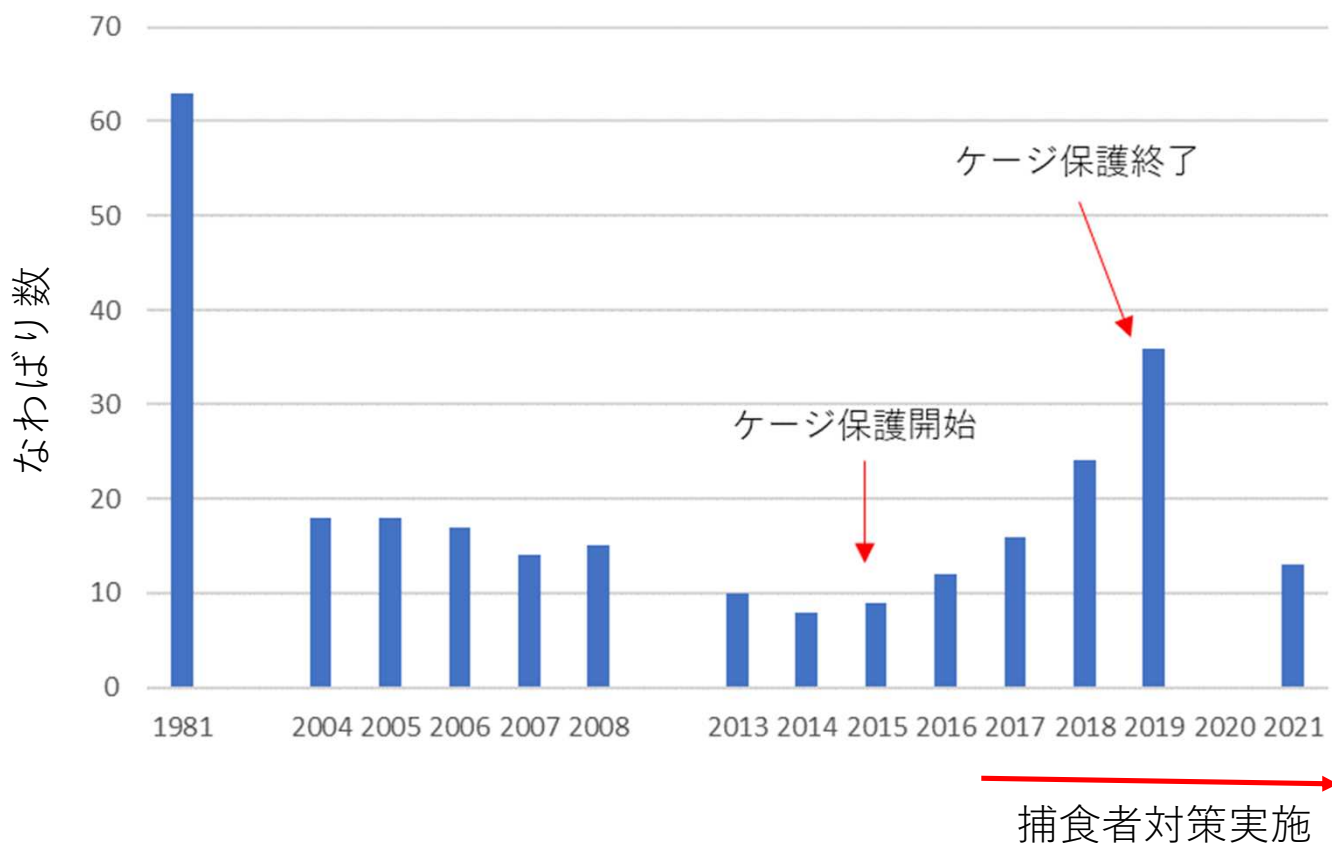
(2) かご罫によるテン捕獲実績

年	月																		計
	5月			6月			7月			8月			9月			10月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
H29			1	4	1												1	1	8
H30	2							1		1				1				1	7
R1				1		1								1					3
R2						1													1
R3				2				2											4
計	0	2	1	7	1	2	2	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	2	23

令和3年度には北岳肩の小屋周辺及び北岳山荘周辺にてそれぞれ2個体のテンが捕獲された。

2. 令和3年度実施結果

(3) ライチョウ生息状況



昨年度は新型コロナウイルス等の影響でなわばり分布調査を行うことができなかったことから、本年は2年ぶりに北岳を含む白根三山のなわばり調査を行うことができた。

北岳でケージ保護を実施していた令和元年までとは調査努力量が減少しているが、令和元年度と比較してなわばり数が減少している。

減少要因については不明な点が多く、確かな要因は明らかでない。

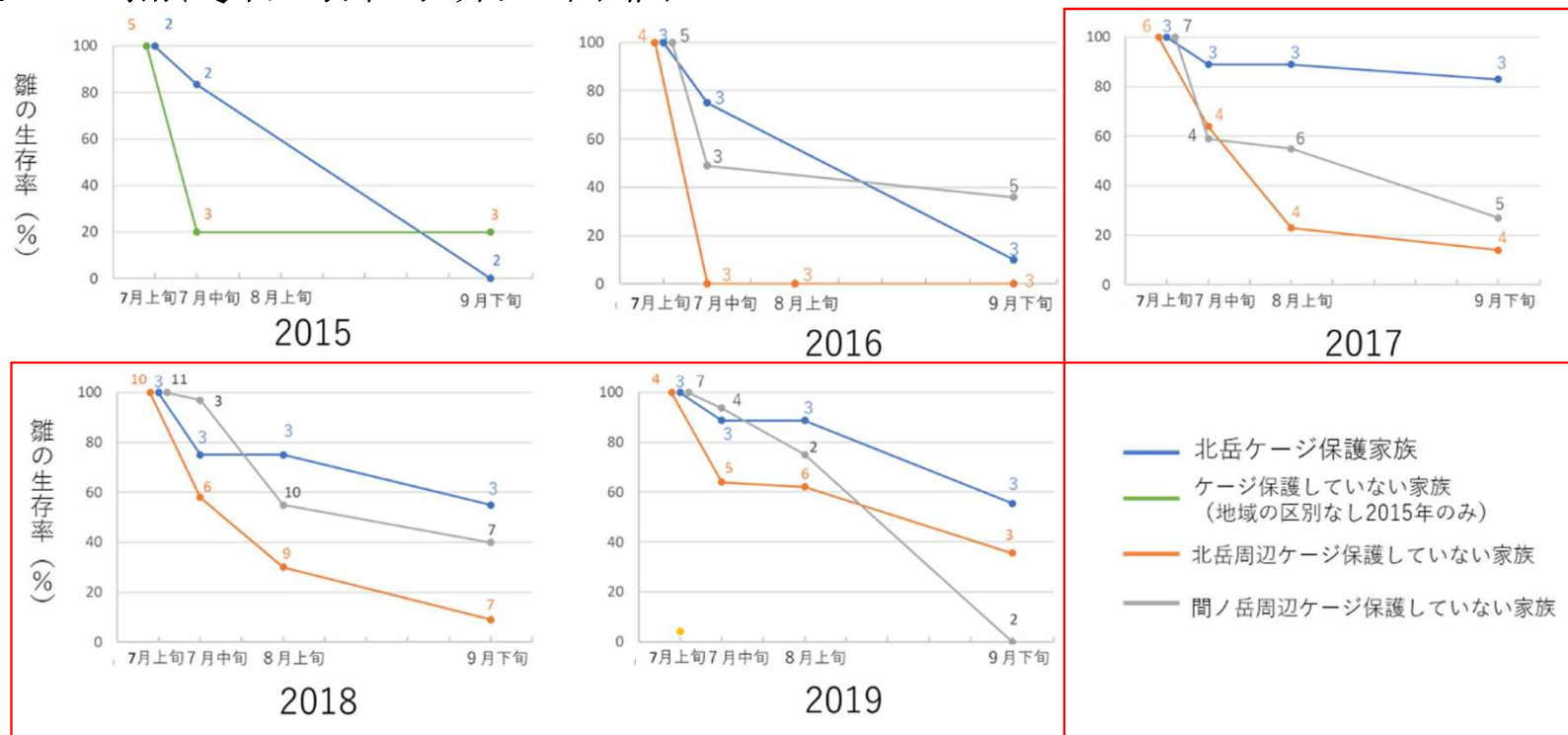
白根三山（北岳から農取岳^{t1}）におけるライチョウのなわばり数の変化

スライド 4

t1 農鳥岳
有山 義昭, 2022/03/09

2. 令和3年度実施結果

(4) 過去の捕食者対策事業の評価

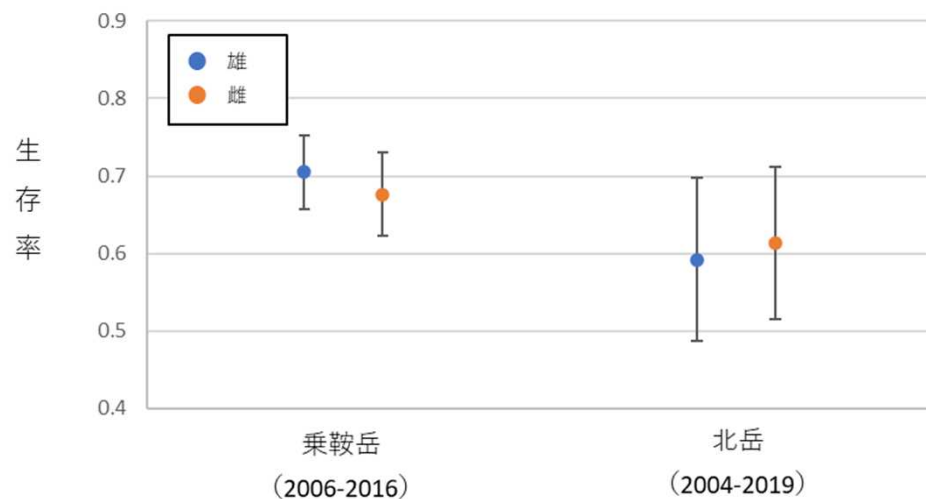


ケージ保護期間中の雛の生存率の地域比較

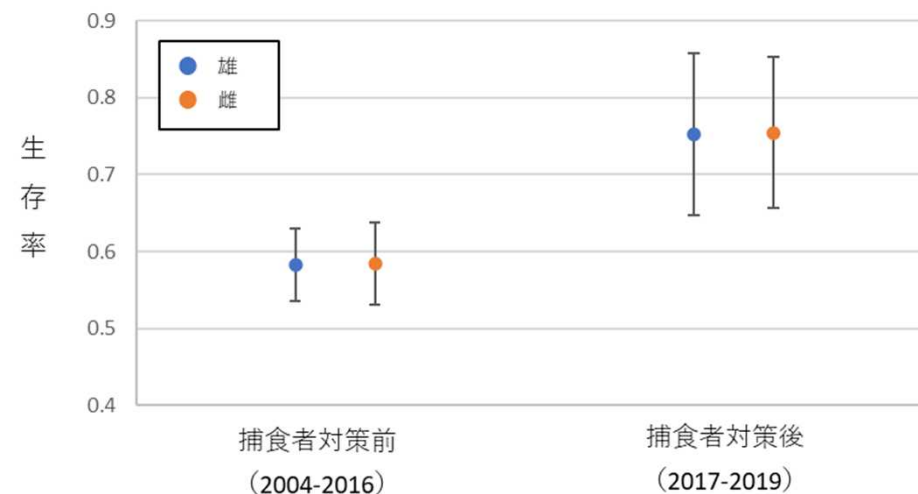
捕食者対策後はケージ保護した雛の生存率が大きく改善された。
一方で、多くの年で雛の生存率は捕食者対策を実施していない間ノ岳周辺の方が高く、北岳周辺の方が定常的に雛の生存率が低かった。

2. 令和3年度実施結果

(4) 過去の捕食者対策事業の評価 (成鳥の生存率)



乗鞍岳と北岳周辺に生息するライチョウの成鳥の生存率比較



北岳周辺に生息するライチョウの成鳥の生存率の捕食者対策前後の比較

個体数が安定している乗鞍岳よりも、北岳に生息しているライチョウの方が成鳥の生存率は低かった。成鳥の死亡要因は主に捕食と考えられており、北岳の方が捕食率が高い可能性を示している。

捕食者対策前後で成鳥の生存率が改善されており、捕食者除去による効果と考えられる。

2. 令和3年度実施結果

(4) 過去の捕食者対策事業の評価（捕獲効率）

捕獲努力量当たりのテン捕獲個体数（100トラップナイト（TN）あたり）

年度		H29	H30	R1	R2	R3
		2017	2018	2019	2020	2021
肩の小屋	TN	240	596	612	?	612
	捕獲数	6	4	3	1	2
	100TN	2.5	0.7	0.5		0.3
北岳山荘	TN	420	300	224	0	576
	捕獲数	2	3	0	0	2
	100TN	0.5	1.0	0.0		0.3

捕獲努力量当たりの捕獲個体数は減少傾向にある。

南アルプスの3つの山岳で撮影されたキツネの撮影頻度の比較（100センサーカメラナイト（CN））

地域	地点	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
北岳	北岳山荘	2.3	1.9	-	0.8	0	0.5	0.4	1	0.7	1.3	0
	北岳山荘直下	1.1	3.9	-	7.9	3.6	6.5	5.7	0.5	6	3.4	0
	肩の小屋	0	0.4	-	0	0.4	0	1.2	0.5	0.5	0	0
	草滑り	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一ベンチ	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
仙丈が岳	地点1	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
	地点2	-	0	-	0	0	0	0.4	0.5	0	1.1	0.3
	地点3	-	0	-	0.3	0.6	0.8	2.2	0	1.9	1.2	1.2
荒川岳	西カール	-	-	-	2.7	0.8	1	2.4	0	0.4	2.9	0
	中央カール	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0	-
	東カール	2	-	-	0.8	0	1.7	0	0	1.7	0	-

南アルプスの3つの山岳で撮影されたテンの撮影頻度の比較（100センサーカメラナイト（CN））

地域	地点	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
北岳	北岳山荘	0.4	0.3	-	1.1	0	1.1	0	0.5	0	0.4	0
	北岳山荘直下	0.6	0	-	0.5	0	1.1	0.4	0	1	0.9	0
	肩の小屋	0	0	-	0.3	0	0	0.4	0.5	0	1.9	0
	草滑り	0	0	-	0.1	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0
	第一ベンチ	0	0.1	-	0.1	0	0.5	0	0.1	0.2	0.4	0
仙丈が岳	地点1	-	0	-	0	0.3	0	0	0	0	0.7	0
	地点2	-	0	-	0	0	0	0	1.4	0	0.4	0
	地点3	-	0	-	0.3	0	0	0	0.5	0	0.8	0.3
荒川岳	西カール	-	-	-	0	0	0	0	0	0.4	0.7	0
	中央カール	0	-	-	0	0	0.5	0	0	0	0.8	0
	東カール	0	-	-	0	0	0	0	0	1.6	0	0

捕食者対策実施後も定常的に捕食者が撮影されている。